

施策分析シート（平成30年度）

No1

施策名	余暇を利用した学習機会の提供	施策No	04-08	部課名	教育委員会事務局教育総務課
関連部課名	教育委員会事務局教育総務課、指導室	課長名	山形	内線	3310
行政評価事業体系	分野 II 子育て教育都市	政策 04	心豊かにたくましく生きる子どもの育成と生涯学習社会の形成		

目的

土・日曜日、長期休業期間等に、既存施設を活用し児童生徒の学習や運動の機会を提供する。

指標

指標

幸福実感指標名		指標の推移			指標に関する質問文		
		27年度	28年度	29年度			
①	子育て・教育環境の充実	3.46	3.43	3.46	お住まいの地域における子育て・教育に関する事業・サービス・施設などが充実していると思いますか？		
②							
③							
④							
施策の成果とする指標名		指標の推移					指標に関する説明
		27年度	28年度	29年度	30年度見込み	目標値(38年度)	
①	校庭利用年間延べ人数	22,886	22,442	19,237	25,600	25,600	実施回数×実施一回あたりの利用人数
②	小学校科学教育センター申込者数	39	34	44	18	40	30年度は実績、38年度の目標値は理科実験室の定員
③	中学校科学教育センター申込者数	36	37	30	22	40	30年度は実績、38年度の目標値は理科実験室の定員
④							
⑤							

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目	28年度	29年度	差額	勘定科目	28年度	29年度	差額
	行政費用				行政収入			
	給与関係費	3,306	10,769	7,463	地方税	0	0	0
	物件費	1,478	1,513	35	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	3,584	3,273	▲ 311	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	1,487	2,586	1,099	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 9,855	▲ 18,141	▲ 8,286
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	9,855	18,141	8,286	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 9,855	▲ 18,141	▲ 8,286
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 9,855	▲ 18,141	▲ 8,286
貸借対照表	勘定科目	28年度	29年度	差額	勘定科目	28年度	29年度	差額
	流動資産				流動負債			
	収入未済	0	0	0	還付未済金	180	1,248	1,068
	不納欠損引当金	0	0	0	特別区債	0	0	0
	その他の流動資産	0	0	0	賞与引当金	180	1,248	1,068
	有形固定資産	0	0	0	その他の流動負債	0	0	0
	土地	0	0	0	固定負債	1,191	14,282	13,091
	建物	0	0	0	特別区債	0	0	0
	建物減価償却累計額	0	0	0	退職給与引当金	1,191	14,282	13,091
	工作物等	0	0	0	その他の固定負債	0	0	0
	工作物等減価償却累計額	0	0	0	負債の部合計	1,371	15,530	14,159
	無形固定資産	0	0	0	正味財産	▲ 1,371	▲ 15,530	▲ 14,159
	建設仮勘定	0	0	0	正味財産の部合計	▲ 1,371	▲ 15,530	▲ 14,159
	その他の固定資産	0	0	0	負債及び正味財産の部合計	0	0	0
	資産の部合計	0	0	0				

財務諸表に関する特徴的事項等

○財務諸表の補助費等の内訳は、校庭利用および科学教育センター実施時における指導員への謝礼に係る経費である。また、物件費の内訳は、遊具や実験用消耗品購入等に係る経費である。

施策の現状・課題・今後の方向性

現状	○校庭や教育センター等の既存の教育施設を活用して、児童生徒の学習や運動の場を提供している。 ○校庭利用事業は、児童生徒の安全確保と場所の提供のため、保護者等の協力を得て事業運営を行っている。
課題	○子どもたちの理科・科学に対する興味・関心を高める場や子どもたちが安全に遊ぶことのできる場であり、健全な余暇活用や個性の伸長のために、さらなる利用促進を図る必要がある。
今後の方向性	○区内における既存の教育施設を有効に活用するとともに、利用者数の増加を図るため、地域、保護者及び教員の協力を得ながら、引き続き、環境に応じた運営方法や事業内容のあり方を検討していく。

施策の分類		分類についての説明・意見等
30年度	31年度	
推進	推進	既存施設を有効活用した本施策は、子どもの心身の健全育成や個性の伸長に寄与しており、運営方法を検討しつつ、利用促進を図る。

施策を構成する事務事業の分類								
事務事業名	事務事業 No	行政費用（千円）		決算額（千円）		施策推進のための 分類		分類についての説明・意見等
		28年度	29年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
校庭利用運営費	13-01-16	4,257	12,538	3,983	3,697	推進	推進	児童に安心して安全な遊び場を提供している。
科学教育事業運営	13-04-35	5,598	5,603	1,079	1,089	継続	継続	理科・科学の基礎能力や応用力の増進につながる多様な科学教育の実施は必要であり、土曜授業の実施状況等を踏まえた事業の実施方法等を検討しながら、継続していく。
合 計		9,855	18,141	5,062	4,786			